

## 第5次下松市行財政改革推進計画 進捗管理シート一覧表

取組項目				実施状況	評価	令和2年度の取組・成果 (実績及び検証、課題など)	今後の展開・方向性 (評価を踏まえ、達成に向けた改善事項、今後の取組など)	効果額 (千円)		担当課	
No.	実施項目	内容	目標年度								
<b>① 事業の見直しと業務改革の推進</b>											
1	時間外勤務縮減の推進	業務に要する時間の削減や業務工程の改善及び職員の意識改善により、時間外勤務の縮減を図る。	R1	実施	②実施中	B 計画と比較し少し遅れている(努力・工夫が必要)	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、イベントや各種会議等が中止となり業務が減少した一方で、国勢調査や特別定額給付金等の新型コロナウイルス対策事業による業務が増加した。単純に比較できない状況ではあるが、対前年比で時間外勤務10,264時間が減少した。	引き続き「時間外勤務縮減の取組方針」に基づいた取組を行う。	23,676	実績値	総務課
			R2	↓							
			R3	↓							
2	行政評価による事業の可視化	総合計画を基本とした施策評価、事務事業評価に取り組み、より効率的な市政の運営を図る。	R1	検討	②実施中	C 計画より大きく遅れている(改善が必要)	総合計画を基本とした施策評価、事務事業評価に取り組み足掛かりとして、当初予算要求において各課が作成する事業査定書(事業単位で概要、財源内訳等をまとめたもの)を通じて、事業の仕分けを引き続き実施した。	事業の仕分けは進んでいるものの、施策評価や事務事業評価の導入にまで至っていないことから、新たな総合計画の施策事業のPDCAを機能させるため、引き続き、事業査定書の活用を図りつつ、将来的な実施計画や予算編成へ反映させる仕組みを研究していくこととする。	-		企画政策課
			R2	↓							
			R3	↓							
3	庁内ICT化の推進	タブレット端末の利用やグループウェアの導入などを推進し、事務事業の効率化を図る。	R1	実施	②実施中	C 計画より大きく遅れている(改善が必要)	定型的な事務作業を自動化するAI-OCR及びRPA導入検討調査を実施するとともに、WEB会議用の端末を配備した。	今後策定する本市の自治体DX推進計画の中で検討を行う。	-		情報統計課
			R2	↓							
			R3	↓							
			R1	実施	③検討中	C 計画より大きく遅れている(改善が必要)	ICTを使った働き方改革の一環で、庁内の情報連携や業務効率化、テレワークの実現等に向けた取組として、ビジネスチャットツールの活用に向けて検討を始めた。	市役所内における迅速な情報連携・共有、テレワークや災害時等の連絡手段として、ビジネスチャットツールの試験導入後の本格導入に向けて検討し、職員の働き方改革や業務の効率化の実現につなげる。	-		企画政策課
			R2	↓							
			R3	↓							
4	統合型GISの整備	統合型GISを整備し、地図情報及び台帳情報を共有することで事務の効率化を図る。	R1	実施	②実施中	C 計画より大きく遅れている(改善が必要)	統合型GISをクラウド化するとともに、住宅地図を更新した。	航空写真及び市域図の更新並びにハザードマップの追加を行う。また、GISを有効活用するために、システム自体の理解を目的とした職員向け説明会を開催する。	-		情報統計課
			R2	↓							
			R3	↓							
5	省エネルギー対策の推進	更新時期が到来した街路灯のLED化を順次実施し、電気使用量の削減や環境配慮の推進を図る。	R1	実施	②実施中	B 計画と比較し少し遅れている(努力・工夫が必要)	街路灯の更新時期が到来したものについて、順次LED化を実施することで、電気使用量の削減や環境配慮の推進を図った。令和2年度は37灯(スポンサー含む)をLED化し、電気使用量を削減した。(年度途中建替のため、対象年度の効果は翌年度以降) 令和2年度末で、街路灯総数1,068基のうち、167基(約16%)がLED化済となった。	LED化する灯具は、省エネ効果の高い製品を採用するとともに、街路灯の撤去を含めた再配置を検討し、電気使用量の削減と環境配慮の推進を加速させる。	-		土木課
			R2	↓							
			R3	↓							
6	窓口業務の見直し	定型的な業務の民間委託や各種申請手続きの可能な限りのワンストップ化を検討し、窓口業務の見直しを図る。	R1	検討	③検討中	D 進捗がない(未着手を含む)	税務手続や葬祭関係手続については、引き続き、極力来庁者を移動させないなど来庁者のワンストップ化に可能な限り取り組んだ。	窓口業務を受け持つ関係課全体で協議を行い取り組んでいく必要がある。	-		税務課 保険年金課 等
			R2	↓							
			R3	↓							
			R1	検討	③検討中	D 進捗がない(未着手を含む)	市民サービスの向上や窓口体制等の整備(ICT化の推進)を図るのは業務所管課であることから、要望に対する支援を行うとともに、今後の社会情勢の変化等に合わせて、引き続き検討した。	今後策定する本市の自治体DX推進計画の中で検討を行う。また、行政手続に関する押印等の見直し指針に基づき、提出書類の削減やワンストップ化、書かない窓口化など行政手続のオンライン化に向けた取組を検討していくこととする。	-		情報統計課 企画政策課
			R2	↓							
			R3	↓							
<b>② 簡素で効率的な組織体制の構築と人材の育成</b>											
7	簡素で効率的な組織体制の再編	様々な行政課題や市民のニーズに対応できる組織体制について、再編を図る。また、時期を熟慮し大規模な機構改革を検討する。	R1	検討	②実施中	A 概ね計画通りの進捗である	「暮らしの安全・安心対策の充実・強化」、「産官民による魅力あるまちづくりの推進」及び「健全な行財政運営の推進と多様化する行政課題への対応の強化」を図るため、令和2年11月に機構改革を実施した。	引き続き、多様化する行政課題や市民ニーズに対応するための組織体制について検討する。	-		総務課
			R2	↓							
			R3	↓							

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗管理シート一覧表

取組項目				実施状況	評価	令和2年度の取組・成果 (実績及び検証、課題など)	今後の展開・方向性 (評価を踏まえ、達成に向けた改善事項、今後の取組など)	効果額 (千円)		担当課
No.	実施項目	内容	目標年度							
8	情報推進化に向けた人材育成	高度化する情報処理に対応するため、電算知識の習得に繋がる職員研修を計画し、庁内ICT化に対応した職員の育成を図る。	R1	検討	③検討中	C 計画より大きく遅れている(改善が必要)	庁内のICT化に対応する効果的な研修及び育成方法について、引き続き検討するとともに、情報統計課の職員については、職務に必要な専門的な研修を受講した。	-		総務課 情報統計課
			R2	↓						
			R3	実施						
9	収納対策の機能拡充	滞納者に関する債権管理情報の集約化を検討し、収納対策の機能強化を図る。	R1	準備	③検討中	D 進捗がない(未着手を含む)	他市の状況を調査したが、債権管理情報の集約については積極的な取組への検証に至らなかった。	-		税務課
			R2	実施						
			R3	↓						

③ 民間委託と市民協働の推進											
10	地域担当職員制度の導入	市内各地域の実情を把握しながら、地域の課題や問題を把握し、地域と行政運営を効果的に連動させるために、制度導入を段階的に進める。	R1	実施	②実施中	B 計画と比較し少し遅れている(努力・工夫が必要)	円滑な制度導入に向け、令和元年度から令和2年度にかけて対象地域や庁内で意見の調整を重ねてきたことにより、計画よりやや遅れたものの、令和3年5月に導入する準備が整った。	制度開始後も地域・担当者・庁内の考えを十分聴き取りながら、より効率的で効果的な制度となるよう適宜要綱や運用の見直しを図っていく。	-		地域政策課
			R2	↓							
			R3	↓							
11	放課後児童クラブ(児童の家)の運営体制の見直し	有効かつ効率的な運営体制の構築を目指し、運営業務の民間委託を順次進める。	R1	準備	①完了	A 概ね計画通りの進捗である	放課後児童クラブの更なる質の向上と運営の安定化を図るため、令和2年度から全17クラブにおいて民間委託を開始した。	事業者が有する専門的かつ高度な知識や経験を活用した研修体制の確立により、職員の更なる質の向上を図ることなどが期待できる。	-		子育て支援課
			R2	実施							
			R3	↓							
12	観光振興推進体制の構築	民間主導の観光施策に転換し、観光振興推進の核となる組織体制を構築するため、団体事務局を民間へ移行する。	R1	準備	①完了	A 概ね計画通りの進捗である	令和2年6月に下松市観光協会の事務局を市役所から下松商工会議所に移転した。また、移転後は、市から観光協会に補助金を交付し、当該補助金を基に、観光協会主導による全市的な観光振興を推進することとした。	行政と民間が一体となった、より効率的、効果的な観光施策を実現するため、継続的な市と観光協会の連携強化を図る。	-		地域交流課
			R2	実施							
			R3	↓							
13	公民館の地元管理の推進	指定管理者制度の導入可能な公民館について、地元住民との協議を進める。	R1	実施	②実施中	D 進捗がない(未着手を含む)	平成27年度から指定管理者制度を導入した深浦公民館以外の公民館についても、導入可能か検討しているが、地域団体による施設の管理運営を前提としているため、実現可能な公民館が見込めていない。	深浦公民館の指定管理者の高齢化問題も含め、地域団体以外への指定管理も検討していく必要がある。	-		生涯学習振興課
			R2	↓							
			R3	↓							
14	指定管理者制度の効果的な運用	公の施設の適切かつ安定的な運営について、適時指定管理者が抱える課題や問題点を把握し、適切な管理運営を行う。	R1	実施	②実施中	A 概ね計画通りの進捗である	文化会館については、指定管理者の専門性や管理運営のノウハウを活かし、市民サービスの向上と経費削減を図った。また、深浦公民館については、地元団体が指定管理者になることで、地域の特色やニーズに沿った管理運営を実現した。	随時、指定管理者と課題や問題を共有しながら、市民サービスの向上や経費削減、地域ニーズへの対応につながるよう、施設の管理運営を引き続き行っていく。	-		生涯学習振興課
			R2	↓							
			R3	↓							
			R1	実施	②実施中	A 概ね計画通りの進捗である	指定管理者との連絡・調整を密に行い、管理運営上の課題を整理改善するとともに、指定管理者の専門性や経験を活かした適正かつ効率的な施設管理に努めた。	引き続き、適切で安定的な施設管理に努める。	-		産業振興課 農林水産課
			R2	↓							
			R3	↓							
R1	実施	②実施中	A 概ね計画通りの進捗である	体育施設については、四半期毎に連絡調整会議を開催し、市と指定管理者との情報共有や問題解決に連携して取り組んだ。また、観光施設についても、定例会を毎月開催するなど、緊密な連携体制を構築し、指定管理者の抱える問題等の把握、解決に努めた。	引き続き、連携体制を維持するとともに、より効率的、効果的な運営の実現に取り組む。	-		地域交流課			
R2	↓										
R3	↓										

第5次下松市行財政改革推進計画 進捗管理シート一覧表

取組項目				実施状況	評価	令和2年度の取組・成果 (実績及び検証、課題など)	今後の展開・方向性 (評価を踏まえ、達成に向けた改善事項、今後の取組など)	効果額 (千円)	担当課		
No.	実施項目	内容	目標年度								
<b>④ 財政基盤の安定・強化</b>											
15	給与制度の見直し	社会経済情勢、国の給与制度、近隣自治体の情勢等を勘案し、給与水準の適正化を図るため、職員の給与制度の見直しを図る。	R1	実施	②実施中	C 計画より大きく遅れている(改善が必要)	策定した制度見直し案に基づき、職員団体と協議を行った。	引き続き、職員団体との協議を図り、見直しを進める。	-	総務課	
			R2	↓							
			R3	↓							
16	資金運用手法の見直し	資金運用に関する手法の研究及び体制の充実等を図り、財産の適正管理及び効率的な活用を図る。	R1	実施	②実施中	A 概ね計画通りの進捗である	債券運用指針に基づき、資金運用(地方債の購入・売却)を行い、財産の適正管理及び効率的な活用を図った。	基金の運用状況や利率の動向を注視しながら、債券運用指針に基づき、効果的な資金運用(地方債の購入・売却)に努める。	-	財政課	
			R2	↓							
			R3	↓							
			R1	実施	②実施中	A 概ね計画通りの進捗である	従来、定期預金は短期(3~6カ月)で運用していたが、一部資金について、より有利な長期(1年~3年)の運用に変更し、状況に応じた効率的な資金運用に努めた。	資金残高、資金収支状況等を踏まえ、債券運用(地方債購入等)についても検討したい。	-	上下水道局	
			R2	↓							
			R3	↓							
17	市有財産の整理及び遊休財産等の有効活用	市有財産の効率的な管理及び運用並びに売却等による経費削減及び収入確保を図るため、遊休財産等の売却・利活用を積極的に推進する。	R1	実施	②実施中	A 概ね計画通りの進捗である	笠戸島ハイツ跡地活用については、既存建物を残して活用する案も可能として公募型プロポーザルを実施したが、事業者決定に至らなかった。市有地売却については、中部区画整理地区内の土地について、入札により11区画(2,147.5㎡)を売却した。	笠戸島ハイツ跡地活用事業については、既存建物を解体し、更地にして再度事業者を募集することとし、既存建物の解体を進めている。行政財産としての活用見込みがない財産は、今後も売却を進めていく方針である。	159,608 (中部区画整理地区内市有地売却額合計)	実績値	契約監理課
			R2	↓							
			R3	↓							
			R1	実施	③検討中	D 進捗がない(未着手を含む)	花岡公民館講堂改築工事が完了するまでの期間は、公民館の備品保管場所等として旧花岡保育園を使用することとしており、米川児童館については、地元団体の活動に必要な物品保管場所として貸出しをした。	旧児童福祉センター、旧花岡保育園、米川児童館の解体等のスケジュール及び具体的な利用方法については、住民ニーズ等を踏まえ、全庁的に検討する必要がある。	-	子育て支援課	
			R2	↓							
			R3	↓							
18	関係団体への補助金・交付金等の見直し	各団体等の事業内容、決算状況等を精査したうえで、必要性や金額について見直しを図る。	R1	実施	②実施中	A 概ね計画通りの進捗である	可能な限り一般財源ベースで対前年度7%カットで予算要求するよう各課に通知を行った。補助金・交付金等の方針に基づき、各所管課において関係団体との聴取の上、補助金等の交付を行った。	各所管課に対し、事業目的や事業内容の精査、補助金等の必要性や効果の検証を行うとともに関係団体との協議を行うなど、見直しに積極的に取り組むことを求める。また、補助金・交付金等の方針に基づき、各所管課において関係団体との聴取の上、補助金等の交付を行う。	-	財政課	
			R2	↓							
			R3	↓							
			R1	実施	③検討中	B 計画と比較し少し遅れている(努力・工夫が必要)	社会教育関係団体への補助金の適正化を図るため、各団体等の事業内容、決算状況等を精査した上で、補助金額を見直すことを検討した。	令和3年度に、補助金額を見直し、一律で約5%の削減を実施することとしている。引き続き、補助金のあり方も含め、その見直しを行っていく。	-	生涯学習振興課	
			R2	↓							
			R3	↓							
			R1	実施	②実施中	A 概ね計画通りの進捗である	補助金交付団体への補助金等の適正化を図るため、各団体の事業内容や決算状況等を精査した上で、予算要求を行った。	引き続き、事業内容、決算状況等を精査するとともに、各団体との情報共有等を密にし、補助金等の必要性や金額について適正化に努める。	-	産業振興課 農林水産課	
			R2	↓							
			R3	↓							
			R1	実施	②実施中	A 概ね計画通りの進捗である	私立保育所運営費補助金については、令和元年度に大幅な補助単価の見直し(減額)を行い、令和2年度において各保育所と協議を重ね、令和3年度からの補助単価についても見直し(減額)を行うこととした。	私立保育所運営費補助金については廃止を検討する。また、認可外保育施設入所児童保育料補助金については、待機児童の発生状況等を踏まえ廃止を検討する。	-	子育て支援課	
			R2	↓							
			R3	↓							
R1	実施	②実施中	A 概ね計画通りの進捗である	補助金交付団体への補助金等の適正化を図るため、各団体の事業内容や決算状況等を精査し、補助金の見直しを実施した。 下松市地球温暖化対策地域協議会補助金(300千円→270千円) 下松市快適環境づくり推進協議会補助金(900千円→850千円) 周南地区食品衛生協会補助金(25千円→23千円)	必要性があれば、随時見直したい。	82	実績値	環境推進課			
R2	↓										
R3	↓										

## 第5次下松市行財政改革推進計画 進捗管理シート一覧表

取組項目				実施状況	評価	令和2年度の取組・成果 (実績及び検証、課題など)	今後の展開・方向性 (評価を踏まえ、達成に向けた改善事項、今後の取組など)	効果額 (千円)		担当課
No.	実施項目	内容	目標年度							
			R1	実施	②実施中	A 概ね計画通りの進捗である 関係団体等への補助金の適正化を図るため、各団体等の事業内容、決算状況等を精査した上で予算要求、執行を行った。	事業内容等の精査により、適正な補助を継続するとともに、状況の変化に応じて速やかに見直しを行うよう努める。	-		地域政策課 地域交流課
			R2	↓						
			R3	↓						

■ その他（独自の行財政改革の取組等）											
19	行政手続における書面規制・押印・対面規制の見直し	行政手続における申請書等の押印等の見直しや記載内容・添付書類について省略・廃止を行うことにより、デジタル化に対応した行政手続の簡素化を推進し、市民の利便性向上と負担軽減を図る。			②実施中		令和3年2月に策定した「行政手続に関する押印等の見直し指針」に基づき、市独自に見直し可能な行政手続における押印等の必要性を精査し、特別な理由があるものを除き、押印等の廃止を令和3年4月1日から実施することとした。その結果、市民等に押印を求めている手続のうち約92%を見直すこととし、併せて市内部の事務についても一部実施した。	国の法令等により求められている押印等の見直しについて、国等の動向を踏まえながら、引き続き実施していくこととする。また、行政手続のオンライン化に向けて、書面規制・対面規制の見直しの検討を進め、市民の負担軽減と利便性の向上につなげる。	-		企画政策課
20	民間助成金活用による事業の充実	多様な財源確保を推進するため、国県補助金や民間助成金制度の選択と有効活用により、事業の充実を図る。			①完了		一般財団法人地域活性化センターの令和2年度「地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業」助成金を活用し、リーフレット「下松で古地図さんぽ」2種類を各50,000部作成した。このリーフレットを活用して、古地図ガイドウォークや講座を開催した。	今回作成したリーフレットが下松の魅力発信や、市民がまちの魅力を再発見するきっかけになるように、公民館、市観光協会、学校等と連携しながら、活用促進を図る。	1,500	実績値	図書館

※効果額は、具体的に数値化できるものについて計上している

■実施状況の区分

- ①完了
- ②実施中
- ③検討中
- ④中止

■評価基準

凡例	基準
S	計画を超える進捗である
A	概ね計画通りの進捗である
B	計画と比較し少し遅れている(努力・工夫が必要)
C	計画より大きく遅れている(改善が必要)
D	進捗がない(未着手を含む)